社会・歴史の時期・推移・因果関係整理ワーク

生徒用｜独自資料12問｜時期・推移・因果関係を整理する

対象	東京都立高校共通問題を受検する中学3年生
単元	歴史・年代・推移・因果関係
問題構成	基礎4問・標準4問・本番形式4問
対象点数	社会50〜80点
難易度	基礎〜標準
目標時間	45分
公式確認日	2026-09-02

教材の目的

近現代の主な出来事を年代順に並べ、時間間隔、推移、前後関係、背景と結果を区別して説明する力を身に付ける。既存の資料読み取り教材とは異なり、歴史的な時間軸と関係整理に範囲を限定する。

都立入試の社会・資料問題の特徴

東京都教育委員会の令和8年度調査は、歴史事象について時期・年代、推移、比較、相互の関連、現在とのつながりに着目して考察する学習の充実を示している。文部科学省の社会編解説も、資料から情報を読み取り年表にまとめ、時代の移り変わりを考察し表現する活動を重視している。

資料読み取りの基本手順

・年表では最初と最後の年、出来事の順序、時間間隔を確認する。

・『前に起きた』ことと『原因である』ことを区別する。

・変化は、制度・社会・国際関係など観点を決めて整理する。

・二つ以上の出来事を結ぶときは、資料に示された範囲を超えて断定しない。

資料形式ごとの見方

・年表：年代順と出来事の間隔を確認し、転換点を探す。

・表：共通項目ごとに前後を比較し、変化と継続を分ける。

・文章資料：時期、主体、行動、結果を示す語句に印を付ける。

・会話文：各発言が事実、解釈、推測のどれかを区別する。

都立入試ナビ

練習問題

基礎問題

問題 1

分野：近世から近代への移行｜資料形式：年表

資料1 開国に向かう動き（年表）

単位：西暦｜期間：1853年～1854年｜対象地域：日本｜教材用の独自整理資料

年	出来事
1853	ペリーが浦賀沖に来航
1854	日米和親条約を締結

二つの出来事の間隔を求め、先に起きた出来事を書きなさい。

解答：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

問題 2

分野：開国と通商｜資料形式：表

資料1 開国期の二つの条約（表）

単位：西暦｜期間：1854年・1858年｜対象地域：日本｜教材用の独自整理資料

年	出来事	主な変化
1854	日米和親条約	港を開く
1858	日米修好通商条約	貿易を開始する

二つの条約の間隔と、変化の推移を一文で書きなさい。

解答：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

問題 3

分野：幕末から明治｜資料形式：文章資料

資料1 政治の転換を整理した文（文章資料）

単位：西暦｜期間：1867年～1868年｜対象地域：日本｜教材用の独自整理資料

1867年、徳川慶喜が大政奉還を朝廷へ申し出た。

1868年、新政府は政体書を公布し政治の仕組みを示した。

二つの出来事の時間関係を、1年という語を使って書きなさい。

都立入試ナビ 都立入試ナビ 都立入試ナビ

解答：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

問題 4

分野：明治の政治制度｜資料形式：会話文

資料1 年代を比べる会話（会話文）

単位：西暦｜期間：1868年～1889年｜対象地域：日本｜教材用の独自整理資料

A：1868年を政治転換の出発点としてみよう。

B：1889年には大日本帝国憲法が発布された。

C：二つの年の間隔を求めると制度整備の時間が見えるね。

AとBが示す年の間隔を求めなさい。

解答：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

標準問題

問題 5

分野：憲法と議会｜資料形式：年表

資料1 憲法発布と議会開設（年表）

単位：西暦｜期間：1889年～1890年｜対象地域：日本｜教材用の独自整理資料

年	出来事
1889	大日本帝国憲法を発布
1890	第一回帝国議会を開く

制度整備の順序と間隔を一文で説明しなさい。

解答：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

問題 6

分野：対外戦争の時期｜資料形式：表

資料1 二つの戦争の開始年（表）

単位：西暦｜期間：1894年～1904年｜対象地域：東アジア｜教材用の独自整理資料

開始年	出来事
1894	日清戦争
1904	日露戦争

都立入試ナビ

開始年の間隔を求め、時期の比較として書きなさい。

解答：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

問題 7

分野：第一次世界大戦と国内社会｜資料形式：会話文

資料1 世界と日本の出来事を結ぶ会話（会話文）

単位：西暦｜期間：1914年〜1918年｜対象地域：世界・日本｜教材用の独自整理資料

A：第一次世界大戦は1914年に始まった。

B：日本では1918年に米騒動が広がった。

C：まず4年という時間関係を確認し、背景は別の資料でも確かめよう。

Cの発言が適切な理由を、年の計算と因果の扱いに触れて説明しなさい。

解答：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

問題 8

分野：大正期の政治参加｜資料形式：年表

資料1 政治参加をめぐる動き（年表）

単位：西暦｜期間：1918年〜1925年｜対象地域：日本｜教材用の独自整理資料

年	出来事
1918	本格的な政党内閣が成立
1925	普通選挙法が成立

二つの出来事の間隔を求め、政治参加の推移として40字以内で説明しなさい。

解答：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

本番形式問題

問題 9

分野：昭和初期の推移｜資料形式：文章資料

資料1 二つの制度・事件を整理した文（文章資料）

単位：西暦｜期間：1925年〜1931年｜対象地域：日本・中国東北部｜教材用の独自整理資料

1925年、普通選挙法と治安維持法が成立した。

1931年、満州事変が始まった。

この文章だけでは、最初の出来事が後の出来事の直接原因だったとは判断できない。

資料から確実に言える時間関係と、言えない因果関係を分けて書きなさい。

解答：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

問題 10

分野：戦争への推移｜資料形式：表

資料1 1930年代から1940年代の出来事（表）

単位：西暦｜期間：1931年〜1941年｜対象地域：東アジア・太平洋｜教材用の独自整理資料

年	出来事	範囲
1931	満州事変	中国東北部
1937	日中戦争	中国各地
1941	太平洋戦争	アジア・太平洋

1931年から1941年までの間隔を求め、戦争の範囲の推移を45字以内で説明しなさい。

解答：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

問題 11

分野：終戦と憲法｜資料形式：年表

資料1 終戦後の政治の動き（年表）

単位：西暦｜期間：1945年〜1946年｜対象地域：日本｜教材用の独自整理資料

年	出来事
1945	第二次世界大戦が終結
1946	日本国憲法を公布

二つの出来事の間隔と、政治の変化へのつながりを資料の範囲で説明しなさい。

解答：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

都立入試ナビ

_____

問題 12

分野：日本国憲法の成立｜資料形式：会話文

資料1 公布と施行を整理する会話（会話文）

単位：西暦｜期間：1946年～1947年｜対象地域：日本｜教材用の独自整理資料

A：日本国憲法は1946年に公布された。

B：1947年に施行された。

C：同じ出来事の段階を区別し、1年の間隔を確認しよう。

公布と施行の違いが分かるように、時間関係を一文で説明しなさい。

解答：_____

_____

_____

見直しチェック

・出来事を年代順に並べた。

・年の差を再計算した。

・前後関係だけで因果を断定していない。

・背景・出来事・結果を区別した。

・記述条件と字数を確認した。

振り返り欄

間違えた問題番号：_____

原因（タイトル・単位・期間・地域・計算・知識・記述）：_____

次に解き直す日：____年__月__日

公式情報確認日：2026-09-02 自己確認日：____年__月__日

都立入試ナビ